

続々・夕霧の墓

望月苑巳

つつみ隠すのですね
それから

滅びの音色へ

肩は寄せて

いみじくもあわれ

寄せては返すあわれ

兄さま、新しい館は慣れましたの？

庭の梅を春が匂うまで

月の光へ誘うとは

いけません。

だれが問いましたの？

はだれ雪も消えて

墓まわりには淋しく輝いています

兄さま、ここから

足音を枯らして祈りましたの？

それから

滅びの音色へ

梅の香は添えて

帰りましたの？

誰もがうるおう

春へなだれこんで

ぼつんと

叫びながらぼつんと

泣きながらぼつんと

沈まねば

梅の庭へ

兄さま、さびしゅうございます

夕霧さまの館が燃えています。